



令和7年8月号

## この号の内容

ページ 1

NET 1 1 9 緊急通報システムについて

ページ 2～4

映像サポート 1 1 9 について

ページ 5

1 1 9 番通報 事案検証会について

ページ 6

現地調査について



あぶくま消防本部  
指令課だより  
【広報誌】

# NET 1 1 9 緊急通報システム

## 「運用再開」について



あぶくま消防本部で導入している、

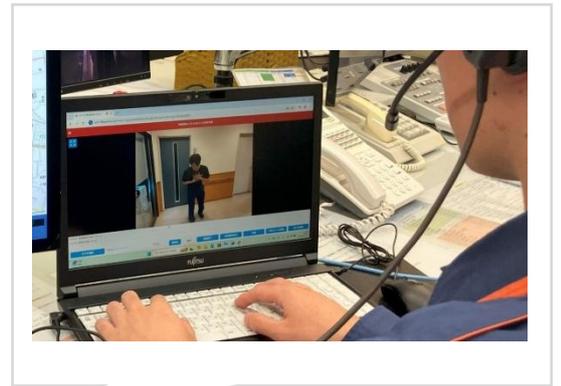
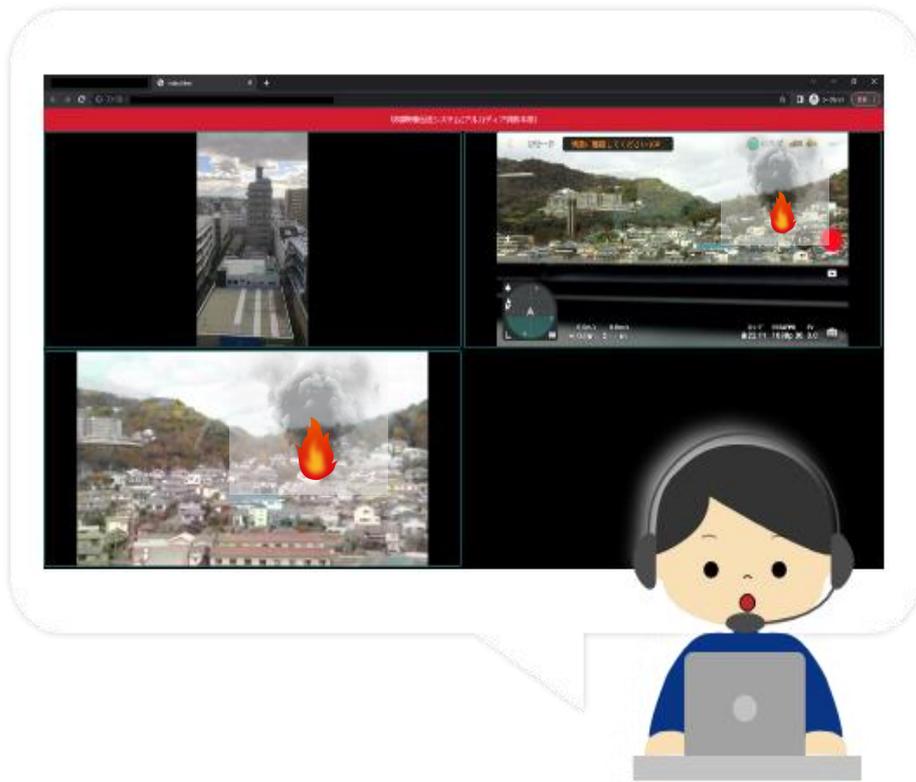
**「NET 1 1 9 緊急通報システム(※)」**の更新に伴い、令和 7 年 5 月 1 日から運用停止しておりましたが、令和 7 年 7 月 1 日から **運用再開**となりました。

※「NET 1 1 9 緊急通報システム」について

聴覚機能などに障害がある方のための緊急通報サービスで、**利用該当者**は、原則としてこのシステムによる通報を受理する 消防本部の管轄地域内に在住、通学又は通勤する者、文字情報(チャット)等による 意思疎通が可能な聴覚・言語障がい者(身体障害者手帳が交付されている、または音声電話による緊急通報が困難であると消防本部が認めた方)となります。

また、以前から利用登録をされていた方々には、あぶくま消防本部から更新のお知らせを郵送しています。受け取られている方は、内容を確認のうえ更新手続きをお願い致します。

# 「映像サポート119」について



(画像はイメージです。)

令和7年7月1日から、

映像サポート119（映像通報機能）を導入しました。

このシステムは、通報者のスマートフォンで撮影した映像を、通信指令室に送信することができます。通報者が言葉では伝えにくい火災や事故現場状況、けが人・急病人の状況などを映像で共有することができ、早期に災害状況を正確に把握することが可能となり、迅速・的確な消防活動につなげることができます。

→ [詳細次ページ](#)

# 「映像サポート119」活用の効果

救急通報では、けが人や急病人の様子を映像で確認することで、止血や胸骨圧迫（心臓マッサージ）などの応急手当を具体的に伝えることができます。また、応急手当の説明動画を通報者のスマートフォンに送ることもできるので、救急車が到着する前に効果的な応急手当を実施することで救命率を向上させることが期待できます。



映像内に含まれる個人情報の取扱いは、個人情報の保護に関する法律及び関連法令に基づき適切に管理します。

# 「映像サポート119」利用方法

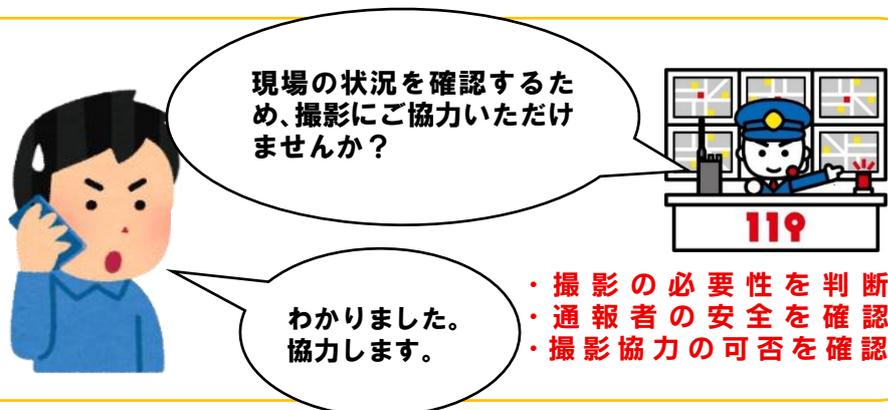
通報者

通信指令室

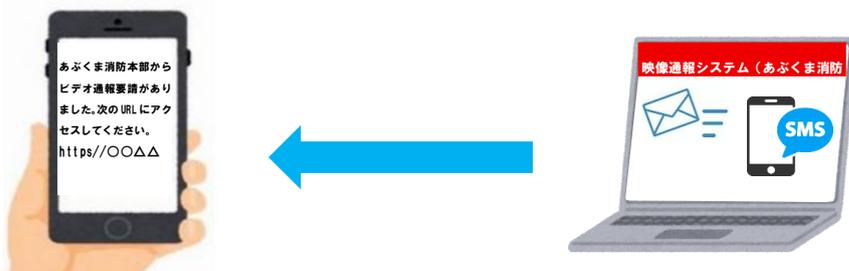
## ① 119番通報



## ② 映像通報を依頼



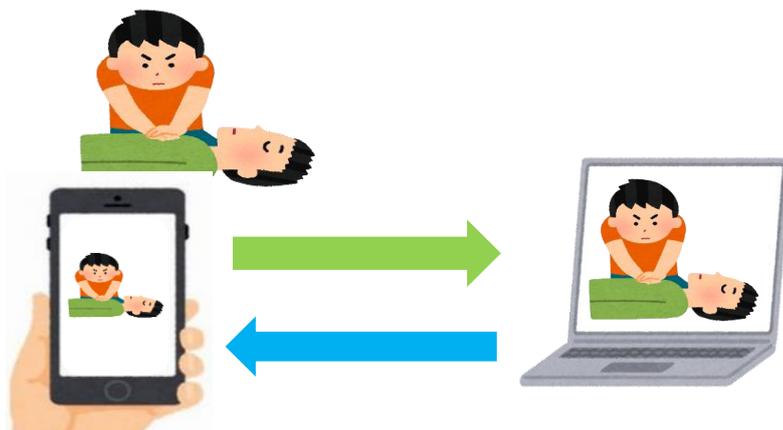
## ③ SMSでURLを送信



## ④ 映像を送信

## ⑤ 映像を見ながら口頭指導

(必要に応じ応急手当の動画を送信)



システムの利用料（通信料）は、通報者負担となりますので、ご了承ください。

# 119番通報 事案検証会について

定期的に火災・救助・救急事案について検証会を実施しています。現場到着時間の短縮や、救命率の向上を目的とした口頭指導の改善など、消防隊・救助隊・救急隊からの専門的及び医学的な観点から課題を見出し改善策について検証しています。

少しでも安心して通報していただけるよう努めてまいります。



119番通報時の録音音声と文字起こしデータを基に、指令までの時間や聴取内容の評価、どのようなキーワードで出動指令、口頭指導等を行ったのか、

対象の事案に出動した消防隊・救助隊・救急隊からの意見を基に課題を見出し、改善策についてなどの検証を行っています。



# 現地調査について

指令業務の一環として、岩沼市・亶理町・山元町内の「**新築住宅や店舗、新設道路などの情報**」を随時更新し、消防隊へ正確な情報を提供するため、消防関係車両を使用して現地調査を行っています。

この調査で得た最新の情報をもとに指令台の地図データを更新することによって、迅速かつ正確な 119 番通報対応ができるようになります。

調査員は、あぶくま消防本部指令課職員が実施しており、消防職員とわかるよう、活動服・消防手帳を携行して業務にあたります。



ご理解とご協力を  
お願いします！

